

地域医療連携室だより

No. 22

2025年11月発行

社会医療法人みゆき会

みゆき会病院

当院における訪問診療について

病院長 安藤 常浩



日頃より、関係各所の皆様におかれましては、当院連携室を通じましての患者様のご紹介、情報共有等では大変お世話になっております。

今回は、当院で行っている訪問診療についてご紹介させていただきます。

ご高齢になり体力が徐々に低下したり、あるいは病状の進行のため通院が困難になり自宅での療養を希望される患者様に医師、および看護師が訪問し診療を行います。訪問先としては、ご自宅だけではなく介護が必要な高齢者施設へも訪問しています。現在の症状や前回からの体調変化等の問診、血圧、脈、SPO2 等のバイタル測定、胸部、腹部等簡単な身体所見チェックや服薬状況の確認について、一連で看護師とともに診察を行っていきます。ご家族や施設の担当者に状況を確認し、内服薬の調整を行い処方箋発行します。自宅での療養継続についてのアドバイスも行います。また、採血等検査が必要と判断される場合は採血も行います。基本的には緊急な往診や、夜間等のいわゆる看取りは行っておらず、概ね毎月の定期的な訪問診察となります。もちろん状態変化や病状悪化が疑われる場合は病院に連絡いただき、対応の相談や救急受診を促したり、あるいは当院の訪問看護ステーションからの看護師が伺っている場合は連携し、早期入院をお勧めしたりしています。

訪問を繰り返すことで良くわかりますが、上山はとくに起伏が多く住宅までの坂道が急なところも多くあります。ご高齢の方においては、通院の移動や診察待ちの負担なく、住み慣れた環境のまま診療/処方まで受ける事は、本人ご家族ともメリットが大きいと考えます。現在、実績として25件/月程度で行っていますが、今後のニーズによっては増やしていくことも検討しています。

この度、訪問診療、訪問看護・リハビリ、訪問歯科診療のご案内のリーフレットを作成しております。それぞれの場面でご活用いただけますと幸いです。今後ともどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

日頃より、関係各所の皆様におかれましては、当院連携室を通じましての患者様のご紹介、情報共有等では大変お世話になっております。

今回は、当院で行っている訪問診療についてご紹介させていただきます。

ご高齢になり体力が徐々に低下したり、あるいは病状の進行のため通院が困難になり自宅での療養を希望される患者様に医師、および看護師が訪問し診療を行います。訪問先としては、ご自宅だけではなく介護が必要な高齢者施設へも訪問しています。現在の症状や前回からの体調変化等の問診、血圧、脈、SPO2 等のバイタル測定、胸部、腹部等簡単な身体所見チェックや服薬状況の確認について、一連で看護師とともに診察を行っていきます。ご家族や施設の担当者に状況を確認し、内服薬の調整を行い処方箋発行します。自宅での療養継続についてのアドバイスも行います。また、採血等検査が必要と判断される場合は採血も行います。基本的には緊急な往診や、夜間等のいわゆる看取りは行っておらず、概ね毎月の定期的な訪問診察となります。もちろん状態変化や病状悪化が疑われる場合は病院に連絡いただき、対応の相談や救急受診を促したり、あるいは当院の訪問看護ステーションからの看護師が伺っている場合は連携し、早期入院をお勧めしたりしています。

訪問を繰り返すことで良くわかりますが、上山はとくに起伏が多く住宅までの坂道が急なところが多くあります。ご高齢の方においては、通院の移動や診察待ちの負担なく、住み慣れた環境のまま診療/処方まで受ける事は、本人ご家族ともメリットが大きいと考えます。現在、実績として25件/月程度で行っていますが、今後のニーズによっては増やしていくことも検討しています。

この度、訪問診療、訪問看護・リハビリ、訪問歯科診療のご案内のリーフレットを作成しております。それぞれの場面でご活用いただけますと幸いです。今後ともどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

社会医療法人みゆき会
みゆき会病院

訪問診療
訪問看護・訪問リハビリ
訪問歯科診療
のご案内



院内外の多職種と情報共有しながら関わっている 外来でのケース

糖尿病にて定期通院中の80代男性。ご本人は理解力低下から糖尿病の管理不十分さがあり、血糖コントロールを目的とした入院歴も何度かある方です。他院に入院中、訪問看護サービス導入の提案がありましたが、ご本人は必要性を感じておらず、利用に繋がりませんでした。

他院退院後、当院外来へ通院される予定となりました。退院後のインスリン、内服継続困難が予測されたため、入院中担当だった医療ソーシャルワーカーより、外来での介入

継続の依頼がありました。ご本人は一人で受診されている状況であったため、同居のご家族へ都度、受診の同席を依頼しました。医師からは治療を続けることの重要性及びご自身でインスリンを管理することが難しくなってきていることを、ご本人・ご家族に繰り返し説明を行いました。

毎月の外来受診には医療ソーシャルワーカーも同席し、主治医と共にご家族へインスリンと内服薬管理の協力依頼を行いました。数回の受診を経て、ようやくご本人・ご家族の同意を得ることができ、ケアマネジャーとも現状について情報共有を進めました。

その後、ご家族の意向もあり、訪問看護サービスを導入する運びとなりました。利用開始直後はインスリン量の変更が頻回に必要だったことや、訪問日にご本人が外出してしまっていたこと等がみられましたので、事業所とケアマネジャーと密に連絡を取り合い、互いに対応を検討しつつ関わりました。現在、ご家族の協力やサービス事業所の介入によって、大きな体調変化はなく、外来通

院を継続しながら自宅で過ごされています。

今回の事例では、入院中に担当された医療ソーシャルワーカーからの詳細な情報提供をもとに、初診からスムーズな介入が行なえました。外来では主治医や外来看護師、サービス利用開始後はケアマネジャー、事業所と連携を図り、ご本人・ご家族双方へのアプローチを行ったことで在宅生活の継続につながったのではないかと感じています。

地域医療連携室では丁寧な関わりを心掛けております。患者様のことで何かありましたらご相談ください。(医療ソーシャルワーカー)



新着任医師の紹介

渋谷 真大 (しぶや まさひろ) 医師

専門 整形外科（肩関節・整形一般）

日本整形外科学会 専門医

日本肩関節学会

日本肘関節学会



酒田市の日本海総合病院から参りました。山形市出身で、現在は山形大学医学部整形外科学講座に所属しており医師として10年目となります。趣味は旅行、サッカー、ゴルフです。サッカーはもともと小学校から大学まで続けていたこともあり、自分でするのも好きですが現在は専らモンテディオ山形の応援など、観戦の方に重きを置いています。

専門は肩関節ですが、肩のみならず整形外科疾患全体を通して地域の皆様に貢献することが出来ればと考えています。まだまだ未熟ではありますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

令和7年10月より診療体制が変わりました。

●土曜日の診療について

診療日 第2、4土曜日（診療時間・受付時間は従来通りです。）

休診日 第1、3、5土曜日

●整形外科の新患受付について

整形外科新患受付 11時まで

これまで整形外科の新患受付は11時30分までとなっておりましたが、令和7年10月より11時までとさせていただきます。

患者の皆様にはご不便をおかけいたしますが、当院としても今後もより一層地域医療への貢献に努め、皆様に信頼される病院づくりを目指してまいりますので、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。



令和7年度 転院紹介患者数報告

令和7年9月までのご紹介件数をご報告させていただきます。ご紹介いただいた患者様は、早期に院内で協議しスムーズにお受入ができるよう対応させていただきます。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

(地域医療連携室を通して紹介いただいた患者数)

病院・施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計紹介件数
山形大学医学部付属病院	9	15	10	9	13	15	0	0	0	0	0	0	71
山形市立病院済生館	3	13	4	5	7	6	0	0	0	0	0	0	38
山形県立中央病院	3	6	3	2	3	1	0	0	0	0	0	0	18
東北中央病院	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	4
至誠堂総合病院	0	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	6
新庄病院	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
山形徳洲会病院	0	3	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	7
日本海総合病院	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
北村山公立病院	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
山形ロイヤル病院	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
公立置賜総合病院	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
舟山病院	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
篠田総合病院	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合計紹介件数	17	46	22	21	29	26	0	0	0	0	0	0	157

外来予約・転院予約について

当院地域医療連携室は、医事課職員1名、看護師4名、医療ソーシャルワーカー5名で担当しております。入退院支援室と医療福祉相談室のスタッフが同室で業務を行っており、細やかな情報共有が可能です。外来受診のサポートや自宅・施設へ安心して退院していただけるよう関係機関との連携を図ってまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

●外来予約

医事課へ電話かFAXでご紹介ください。ご紹介いただいた患者様は、お待たせすることなく診療科へご案内いたします。

TEL：023-672-8282（代表）
FAX：023-673-1523（代表）

●転院予約（地域医療連携室）

急性期治療後のリハビリや療養目的等の患者様のご紹介は、入退院支援室までご連絡ください。

TEL：023-672-8282（代表）
FAX：023-673-2561（直通）

◆主な業務内容：病診連携による外来予約、病病連携による転院相談・調整及び退院調整・外来予約申込書と転院依頼票は、当院ホームページよりダウンロードしていただけます。

